

芙蓉



社会福祉法人 芙蓉会

<https://www.fuyoukai.org>

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地 TEL (0545) 55-1118 FAX (0545) 55-1119

児童養護施設	ひまわり園	☎0545-52-0402	通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	☎0545-55-1800
地域小規模児童養護施設	ひろみ	☎0545-22-1281	通所介護	ふようデイサービスセンター	☎0545-52-1397
乳児院	恩賜記念みどり園	☎0545-53-5665	居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	☎0545-52-5500
企業主導型保育施設	さくら保育園	☎0545-55-1118	地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	☎0545-30-8324
特別養護老人ホーム	みぎわ園	☎0545-55-1800	在宅介護支援センター	みぎわ園	☎0545-55-1811
ショートステイ	みぎわ園	☎0545-55-1877	看護小規模多機能	みぎわの里	☎0545-30-7952



地域と共に、芙蓉会とともに 社会福祉法人 芙蓉会 評議員 松本 玲子

極寒の寒さの時期を抜け出し、各地から、花の便りが聞こえてくる頃となりました。しかし、霊峰富士の頂は、まだ、雪の帽子をかぶり、時折、吹く風は、冷たく、春遠からじという、思いの日々が、続きます。

コロナ禍に襲われて、早4年。戦中生まれの私達を育てた親の世代は、戦後の厳しい時代を、地域の人たちと共に力を合わせて、乗り越えてきました。

私達は、コロナの伝染、蔓延で、同じように苦勞を体験し、多くの苦しみが起きるものだと、実感した数年でした。もう、そろそろ、終息しても、良いのでは、と思っていましたが、コロナは、考えていた以上に手ごわく、もう少し耐えなければ、ならないようです。

人という字は、お互いが、支え合っている姿を現していますが、時々、妙に、「上手に、出来ている」と、感じています。助け合いもここから、スタートしているのだと思うと、現代の希薄さが気になりながら、つかず、離れずのつながりが、コロナ禍では、感染を広げない一つの手段かもしれないと、いかにも、合点がいくような答を、考えて、納得しているような状況です。

先日、あまりの暖かさに誘われて、近所を散歩していたところ、誰にも会わない。今までの私と同じように、コロナの感染を恐れ、外へ出ることを警戒してしまうことが、当たり前になってし

まったのだろうか。そんな、思っていたところ、「町内の上段の斜面が、造成されるので、説明会がある」という回覧版が回ってきました。

ちょうど、三つの地区が隣り合わせになっている地域なので、どこの地域に入るかで、通う小学校が違って来るようです。まだ、はっきりしたことは、聞いておりませんが、既存のどちらの町内に入るのか、気になるところです。芙蓉会の丁度、西北にあたる所のように。その地域は、東側が今泉、西側が伝法、北側が石坂（広見）、南側が吉原と、なります。新しい家が出来、新しい人たちが、住んで、新しい町をつくるとなると、既存の住人と、新しいつながりが生まれ、また、お互いが助け合い、絆を作っていくと思います。

芙蓉会が吉原から移転してきたのは、昭和32年。その東隣に、県立吉原高等学校が引越してきたのが、昭和29年でした。その後、周囲に、新しい住人が次々と住み、芙蓉会は、多くの地域の人たちに支えられて年を経過。歴史のさまざまな場面で、地域と共に、前向きに進んでこられました。

そして、また、新しい住人がこの地域に参加されるのは、そんなに遠いことでは、ないでしょう。新しい住居が立ち並び、移り住んだ方々の声が聞こえる日が、すぐそこまで、近づいていると思います。

富士山を仰ぎ見る地区に、一緒に歩みを進めていく皆様と共に、芙蓉会のさらなる前向きな歩みを重ねて、誰もが安心して生活が出来、お互いに助け合い、明るい声が響きあう町が、実現することを願っています。

当法人の役員をお願いしていた川島泰彦様が令和6年3月24日ご逝去されました。

ボーイスカウト富士第一団の活動を中心に児童福祉施設の子ども達や、高齢者施設のためにご尽力いただき、法人事業に多大なるご支援をいただきました。泰彦様のご生前のご功績に感謝すると共に、心からご冥福をお祈りいたします。

社会福祉法人 芙蓉会 理事長 内藤好彦 役職員一同

★みぎわ園★

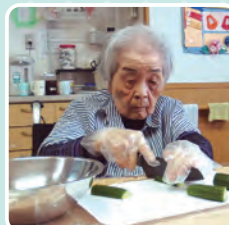
生春巻き作り



ベトナムから来た技能実習生がお料理レクを行なってくれました。

料理が得意だったという利用者様が多く、その包丁捌きで材料を上手に切って下さいました。

切った材料をライスペーパーでくるくる巻けば完成!珍しいお料理だったからか、皆様、完成品の写真を撮る前に召し上がってしまわれました。とても美味しかったそうで、皆様喜ばれていました。



★ふようデイサービスセンター★

～祝 令和6年1月4日

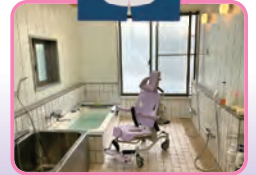
ふようデイサービスセンター移転～

これからの時代を見つめて、ここに通われる方々の世代を思いつつ、青少年期に思いを馳せる事を考えて、木の講堂をイメージし、より環境にやさしく人の心に寄り添うように木の温もりに溢れる施設としました。

お風呂は銭湯をイメージし、ゆっくり入れる大浴場にしました。車いすの方でも入れるお風呂もあります。

「楽しかった」と思われ、安心安全なデイサービスを目指し、取り組んでいきます。

今後もふようデイサービスをよろしくお願います。



★みぎわの里★



書き初め



周年祭では「二胡」の甘く哀愁のあるやわらかい音色に包まれ、楽しいひと時を過ごされました。

新年を迎え今年も利用者の笑顔に包まれています。お正月は書初め、みぎわの里神社での初詣。新年会では「おやじライブ」で盛り上がり節分では豆まきを行い、厄払いを行いました。



祝・百寿

「石井いよ子様」が100歳を迎えられ、お祝いをしました。100歳という人生の大きな節目と一緒に過ごすことが出来、とても嬉しく思います。これからもお元気で過ごして下さい。

みぎわの里も今年の2月で9周年を迎える事が出来ました。ご利用者・ご家族のご理解・ご協力の賜物と感謝しております。これからも職員一同、利用者の笑顔に出会えるようサービス向上に努めて参ります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

★デイサービスセンターみぎわ園★

初詣

天気にも恵まれ、散歩をしながらお参りすることが出来ました。



小豆ばとう作り

青森県、岩手県の郷土料理です!お汁粉のお餅の代わりにきしめんを入れ、食べやすかったと好評でした。



★ひまわり園★



いつも
ありがとう



フロンティアジャパン様



nattoku住宅様



昨年4月から今年3月にかけてディズニーランドへ連れて行ってくださったり、お菓子を頂いたり、UFOキャッチャーをしてぬいぐるみをくださったりと、たくさんの方々から子どもたちに素敵なプレゼントを頂きました。子どもたちは大変喜んでおり、直接プレゼントをしてくださった方々には、子どもたちの笑顔もたくさん見ていただくことが出来ました。ご支援いただき本当にありがとうございました。ご紹介している方々以外にもたくさんの方々にご支援をいただきました。詳しくはホームページをご覧ください。



(株)ADEKA様



富士中央ライオンズクラブ様



株山清倉庫様



ワールドメイト富士様

★ひろみ★



ひまわり園でピアノボランティアの中村様主催でピアノ発表会が開催されました。ひろみの小学生も演奏をしました。練習では苦戦していた演奏も発表会では堂々と弾く姿に感動しました。中高生も演奏を見に行き、途中皆のお手本として前に呼ばれてボディパーカッションをしたりと、楽しんでいました。



♪音楽会♪



★みどり園★



節分

自分たちで作った鬼のお面を被りながら、鬼に見立てた風船に向かって丸めた新聞紙を投げ、豆まきの練習をしていると、ドンドン!と扉を叩く音が…!扉の方を見ると赤鬼が立っていて、子どもたちはびっくり!泣いてしまいうちが多い中、一人勇気を振り絞って、「おにはそと!」と新聞紙を投げ、見事鬼を退治してくれた子がいました。



ひな祭り

ひな祭りで雛人形と紙皿フリスビー作りをしました!雛人形の顔を自分たちで作り、周りは絵の具と風船を使って風船スタンプで飾り付けをしました!フリスビーの真ん中にはお花の飾りや花柄の紙を貼り付けて、春らしいフリスビーが完成しました!子どもたちは真剣な表情で製作を行い、フリスビーで遊んでいる時には楽しそうな声が聞かれました♪



園外保育

原田公園に行ってきました!初めて行く公園でたくさんの遊具に子どもたちは大興奮でした。中でも子どもたちに一番人気だったのは長いローラー滑り台!何度も繰り返し滑ってすてきな笑顔が見られました。その他にもシャボン玉をしたり、アスレチックに挑戦したりとたくさん身体を動かして元気いっぱい遊びました。また行こうね♪



★さくら保育園★

そっえん
おめでとう!

卒園の日

小さかった体も見違えるように大きくなり、色々な事ができるようになったね。新しい保育園に行っても、沢山笑って楽しく過ごしてね。

節分

「おには外!」と保育園に大きな声が響きました。今年も1年、健康で過ごせますように。



ドライブ
いく~?

令和6年度 社会福祉法人芙蓉会 事業計画

「変革の時：未来に向けた意識改革を」

昨年5月よりコロナウイルス感染症の分類が5類となり、巷でのコロナウイルスへの対策が緩和され、もはや市民生活を維持しながらの施設内感染を完全に防ぐ方法は見つからないのが現状ですが、当法人を利用する方々に合わせた、最善と思われる対策を講じながら、当法人を必要とする方々の安心・安全を守ることを主軸に事業を進めます。

当法人の事業所には、創業者から受け継がれている、「慈善・博愛」を基にした先達の思いや、私達がお手本としてきた先達の後ろ姿、利用者のみならず職員を守るために、長い歴史の中で培われてきた様々な事柄が存在しています。それは私達が後進に伝えていくべき大切な事柄だと信じていますが、「働き方改革」に代表される労働関係法令の改正等で、様々な修正をしなければならなくなっているようです。

私の学生時代は「奉仕の精神」という言葉が福祉に対する礎として教え込まれ、低賃金でも利用者のために当たり前に従事する私達の原動力となっていました。

現在は給与水準も昔とは比べものにならないくらい向上し、「労働=対価」が当たり前で、残念ながら「奉仕の精神」という言葉は歴史上のものになってしまいました。創立以来120年を超える歴史を有する当法人が、その歴史の中で培ってきた物事について、今の時代の法令等に遵守しているのか？奉仕という言葉に甘えていることはないか？事業所独自のローカルルールは存在しないか等、見直すべき時に来ているようです。今年は新たな1年目として法人内の検証作業に取りかかり、良いものは残し、現代には相容れないものは時代に即して修正していくことで「施設の常識は社会の非常識」と言われることが無いように襟を正していきたいと思えます。また、昨年度完成させることができなかった、創立以来の歴史事象を纏めた「社会福祉法人芙蓉会110年通史」の発行や、乳児院恩賜記念みどり園の改築に関係する事業などを進めます。当法人を利用する方々の最善の利益の追求と、地域などから求められる公益事業の展開を継続するために、昨年作成した法人紹介動画などを使用して積極的に当法人のアピールや、求人情報を発信し、次世代の担い手の確保や、当法人を選んで働いてくれている職員の誰もが安心して仕事が続けられる労働環境の整備、職員自身がキャリアアップする事に対してモチベーションの維持ができることなどを主軸に、先達の作り上げてきた思想や理念・支援技術を継承し、進化・発展させる次の世代の人材の確保や、育成をおこなう事業を継続して展開することを心掛けます。

【法人本部】

社会福祉法人芙蓉会は2024年6月で創立121周年を迎えます。

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」の下、地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考えており、更なる透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動(買い物困難者への支援事業)の実践を推進して参ります。

現在、社会福祉法人では「人材確保、育成、定着」に苦慮しており、このような厳しい環境下で、「人材が集まり、育ち、定着する職場」をどのように整えるべきか、事業の継続性や持続的な成長性を実現するために「人材」について経営戦略と整合性をもって推進することは、当法人の優先すべき課題であります。福祉サービスは人を相手として、人の手によって行われる対人サービスであり、福祉人材の確保及び資質の向上は、福祉サービス提供そのものに影響を及ぼすことになり、新卒者だけでなく中途採用の強化が求められ、採用方法にも工夫が必要となり良質な福祉サービスの継続的な提供に向けて、「福祉の仕事の魅力」の発信(WEBの有意義な活用等)に向けて不断の努力を重ねて参ります。

最後に、新任職員は4月に坂倉裕子氏による「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について学び、秋には立石雅世弁護士、塩谷知一弁護士及び平山周恒弁護士による「ハラスメント研修」を開催し、働きやすく魅力ある職場づくりと職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供を目指して参ります。

【児童養護施設 ひまわり園】

令和5年(2023年)4月1日に子どもに関する行政事務の一元管理を目指して「子ども家庭庁」が設置されました。少子高齢化した日本の子どものための環境整備をおこなうために設置されたものであり、子どもを社会の中心に据えた取り組み・政策「こどもまんなか社会」の実現を目指すというものです。社会的養護に関係することとしては、親子再統合、里親支援、自立支援、子どもの意見表明などの点でさまざまな施策が行われることとなります。特に「里親支援セン

ターの設置」「児童自立生活援助事業の見直しと拡充(年齢制限の撤廃など)」などは児童養護施設に対しても大きな変化をもたらすことが予想されます。

ひまわり園においては、平成7年に改築した現存の本体建物を今後どのように活用していくのかが課題となっています。当時は定員90名の6ユニットによるユニットケア(1ユニット15名定員)と高校生の自活訓練ホームを運営していましたが時代とともに少しずつ変化してきました。今後も国が求める施設の「小規模化」に対しては本体施設の設備について国に申請できる設備条件で県に問い合わせても明確な返答がまだ得られていないこと、設備は整ってもユニット定員6人にするためには入所を制限しなければならないことが課題となっています。

また、一方で「地域分散化」に関しても課題があり、みどり園北側に土地を購入したにもかかわらず建物建設が進んでいないこと、現存の地域小規模児童養護施設の老朽化しているということが挙げられます。

運営面においては、入所児童数減少に伴う事業費収入の減少、縦割りユニット維持と労働基準法に則った勤務体制整備のための職員確保と人件費の確保も課題となっています。小規模グループケア申請が可能になれば人件費加算を受けられるのですが上記のような問題があるため現状では厳しい状況にあります。また、地域分散化を進めた場合、本体の空きユニットをどのように活用していくのかも検討していますが明確な方針が定まっていないという課題もあります。空きユニットの活用方法としては「一時保護機能」「ショートステイ対応」「児童自立生活援助事業」などが考えられますが、こうした事業を行うには更なる人材確保、育成も必要です。こうした課題に対しては今後とも幹部職員や現場職員と継続検討していき、一つひとつ実現していきます。

【地域小規模児童養護施設 ひろみ】(ひまわり園加算事業)

本体施設の支援のもと、地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持ちながら、個別のニーズに沿った支援を提供することを目指します。職員が4人体制になり、3年目に入りました。単独勤務の時間が減少しましたが、十分なものではありません。こういった勤務体制で児童

を養育していくのが良いのか、未だ定まっておりません。事業を進めながら、より良い養育環境・勤務体制を整えていきます。

今年度は、中学校3年生は1名、高校3年生2名が進路を決めることとなります。子どもが主体的に自分の進路を選択し、それに向かって努力出来るように支援していきます。近年、充実してきた奨学金や、進学就職を支援する制度などの社会資源について、職員が学び、子どもにしっかり提示出来るよう努めていきます。

近年、入所児童数の確保に苦慮しております。現在の社会的養護において、児童の意見を尊重することが最重要となっており、本園からひろみへの移行となると、転校や担当職員が変わるなどの問題があり、移行には困難が生じます。これらの問題に対しては、縦割りのユニットでの養育、担当制を重視している当園においては、容易に解決出来る問題ではなく、施設の移転等を含め、園全体で対応策の検討が必要です。

また建物の老朽化に対しても対策の検討が必要です。家屋の改修や移転など、具体的な計画を立てていく中で、現場としての意見も積極的に発信し、計画が円滑に進むよう努めていきます。地域との良好な関係を築いていくことに努めます。地域住民との日常の関りを大事にしていくと共に、町内会や子ども会などの、地域の行事に積極的に参加することで、施設や子どもへの理解が深まるよう努めていきます。また地域の中の児童福祉施設として、少子化、高齢化の影響を受けている地域に貢献出来ることを模索し、日常生活の中で実行していきます。

令和6年度は本体施設の支援のもと、以下の基本目標に基づき、職員の技能向上および児童養護サービスの向上に努め、安全で安心な暮らしを子どもたちに保障し、社会的自立並びに家族再統合に向けて、関係機関、地域、学校、保護者と連携・協働して事業を推進します。

【乳児院 恩賜記念みどり園】

昨年度は定員を25名で運営することができましたが、国による家庭的養育の推進の影響からか入所児の減少が進んでいます。このため令和6年度は暫定定員20～21名での運営が強いられそうです。令和5年5月にコロナウイルス感染症が5類に分類され、巷のコロナ対策も緩和されていますが、マスクができず、言葉によるコミュニケーションが難しい乳幼児の安心・安全を守るため通常のコロナウイルス等への感染症対策を継続しながら事業を進めてまいります。

恩賜記念みどり園は昭和27年4月1日に認可を受けて今年で72年目となります。現在の園舎は昭和51年3月の増改築後48年経過し、老朽化が否めないことや、令和元年以来、静岡県指導監査で、県独自の耐震基準を満たしていないことの助言指導を受けて続けていること、現状の間取りでは時代の要請に応えることが難しいので、園舎改築計画を進めています。国が推進する家庭的養育推進計画加速化プランの最終年度である令和6年度に改築がはじめられるように、昨年7月に補助金申請にエントリーし、令和6年1月10日に静岡県による基本設計審査を受けましたが、乳児院運営に関する関係法令や、消防法、改築に関する補助金申請上の諸規則や、改築費捻出の関係で、国への協議申請は4月になり、内示は令和6年6月頃になる見込みです。現状では令和8年3月末の完成が危ぶまれています。できる限りの方策を駆使して乳幼児の相談支援や、在宅家庭への支援(ショートステイ・母子のデイサービスや一時保護等)を充実させた乳幼児総合支援センターの建設計画に関する事業完了を目

指します。

園内での養育に関しては、ふようデイサービス跡地への移転準備を意識した養育形態の変更や、職員配置の見直し等を行い、最終的には改築後の新園舎での養育形態に対応できるよう勤務形態を充実させることや、社会福祉施設第三者評価の1年前倒しの受審ができるように、自己評価委員会を中心に園内の養育状況等の検証や見直しを行うと共に、より一層の小規模化・分散化された養育形態を模索しながら、より子ども達のニーズに応えられるよう体制の整備を心掛けます。

また、昨年度末に完成した「安全計画」が機能していくように、職員への定着促進を図るための機会を増やし、24時間365日稼働している児童福祉施設の体制整備や設備の充実、職員の労働環境の整備等、事業継続に向けて必要な人材の確保や養成についても事業計画に盛り込みながら、別添え資料の事業を進めます。

【特別養護老人ホーム みぎわ園】

令和6年度計画を組むにあたり、年明け元旦、能登半島沖を震源としたマグニチュード7の地震、翌2日には日航機と海保機との衝突事故等、私たちを震撼とさせる年明けとなりました。この様な中、年度計画の柱として介護保険報酬改訂、医療保険制度改正、併せて介護保険総合支援法の改定とトリプル改正が行われる年度であります。介護保険報酬改訂については、改訂率1.59%、うち介護職員処遇改善に係る改訂0.98%、報酬単位分0.61%という予定であります。また今回の改定では、細かな各種加算がキーワードで注目すべき点と加算取得の上で義務化された要件の猶予期間が無くなる点もあります。加えてICT関連を各種活用して介護現場での労務負担の軽減を図るとした加算など、デジタル化の推進が注目された点であります。

新築となったふようデイサービス(定員50名)での運営、居宅支援事業所スタッフによるケアプラン事業の充実と、それら稼働における事業展開を期待する年度でもあります。

感染対策については、コロナウイルス感染症5類に分類後、感染者数の有無にかかわらず営業の休止等はなくなったものの、依然として感染症でのダメージは厳しいものがあります。手洗い、アルコール消毒、マスク着用等々と対策は進めていますが、感染の防止には難しい所がある事も想定した上での事業展開が必要としています。介護人材の確保計画については、全国的にも介護人材の不足は大きな問題となっている所ですが、大切なのは如何に施設を知ってもらうかと言う点で、その中には積極的な学校訪問を行いPRを進めること、また募集広報をどのように進めるかという点で、SNSなどデジタル分野での活用等の検討も視野に進めます。

【企業主導型保育事業 さくら保育園】

保護者が子どもとともに出勤し、保護者の退勤後すぐに迎えに来てもらえることや、居住地に近い保育園を探すまでの期間が長くなり、近隣の保育園に3歳で入園できるよう支援を続け、保護者への支援を目的として事業を進めて参ります。

法人の多様な就労形態に対応する就業環境(仕事と子育ての両立)を整え、職員の雇用の安定を図ることを目的に進めて参ります。

2024年度 社会福祉法人芙蓉会 予算計画

令和6年度 資金収支予算書

(自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		本年度(A)	前年度(B)	増減額(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	介護保険事業収入	842,421,000	799,819,000	42,602,000
	児童福祉事業収入	482,337,000	530,277,000	-47,940,000
	保育事業収入	23,082,000	15,604,000	7,478,000
	その他の事業収入	824,000	1,273,000	-449,000
	借入金利息補助金収入			
	経常経費寄附金収入	1,690,000	2,761,000	-1,071,000
	受取利息配当金収入	986,000	979,000	7,000
	その他の収入	5,977,000	7,950,000	-1,973,000
	流動資産評価益等による資金増加額			
事業活動収入計(1)	1,357,317,000	1,358,663,000	-1,346,000	
支出				
人件費支出	1,002,478,000	988,262,000	14,216,000	
事業費支出	164,488,000	167,715,000	-3,227,000	
事務費支出	105,866,000	114,667,000	-8,801,000	
利用者負担軽減額	2,400,000	2,320,000	80,000	
支払利息支出	933,000	941,000	-8,000	
その他の支出	4,742,000	5,312,000	-570,000	
事業活動支出計(2)	1,280,907,000	1,279,217,000	1,690,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	76,410,000	79,446,000	-3,036,000	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入		1,086,000	-1,086,000
	施設整備等寄附金収入			
	設備資金借入金収入		150,000,000	-150,000,000
	固定資産売却収入			
	その他の施設整備等による収入			
	施設整備等収入計(4)		151,086,000	-151,086,000
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	20,872,000	19,434,000	1,438,000
	固定資産取得支出	9,626,000	244,391,000	-234,765,000
固定資産除却・廃棄支出				
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,129,000	1,133,000	-4,000	
その他の設備整備等による支出				
施設整備等支出計(5)	31,627,000	264,958,000	-233,331,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-31,627,000	-113,872,000	82,245,000	
その他の活動による収支	収入			
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入			
	長期運営資金借入金収入			
	長期貸付金回収収入			
	投資有価証券売却収入			
	積立資産取崩収入		44,136,000	-44,136,000
	事業区分間繰入金収入			
	拠点区分間繰入金収入		25,000,000	-25,000,000
	サービス区分間繰入金収入		14,000,000	-14,000,000
	その他の活動による収入		1,690,000	-1,690,000
その他の活動収入計(7)		84,826,000	-84,826,000	
支出				
長期運営資金借入金元金償還支出				
長期貸付金支出				
投資有価証券取得支出				
積立資産支出	3,057,000	32,972,000	-29,915,000	
事業区分間繰入金支出				
拠点区分間繰入金支出		25,000,000	-25,000,000	
サービス区分間繰入金支出		14,000,000	-14,000,000	
その他の活動による支出		1,690,000	-1,690,000	
その他の活動支出計(8)	3,057,000	73,662,000	-70,605,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-3,057,000	11,164,000	-14,221,000	
予備費支出(10)	91,000	316,000	-225,000	
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	41,635,000	-23,578,000	65,213,000	
前期末支払資金残高(12)	288,464,824	312,042,824	-23,578,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	330,099,824	288,464,824	41,635,000	

事業区分別 資金収支予算明細書

(自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	合計	内部取引消去	法人合計	
事業活動による収支	収	介護保険事業収入	842,421,000		842,421,000		842,421,000
		児童福祉事業収入	482,337,000		482,337,000		482,337,000
		保育事業収入		23,082,000	23,082,000		23,082,000
		その他の事業収入	824,000		824,000		824,000
	入	借入金利息補助金収入					
		経常経費寄附金収入	1,690,000		1,690,000		1,690,000
		受取利息配当金収入	985,000	1,000	986,000		986,000
		その他の収入	5,977,000		5,977,000		5,977,000
		流動資産評価益等による資金増加額					
		事業活動収入計(1)	1,334,234,000	23,083,000	1,357,317,000		1,357,317,000
支	人件費支出	973,727,000	28,751,000	1,002,478,000		1,002,478,000	
	事業費支出	163,149,000	1,339,000	164,488,000		164,488,000	
	事務費支出	105,136,000	730,000	105,866,000		105,866,000	
	利用者負担軽減額	2,400,000		2,400,000		2,400,000	
出	支払利息支出	933,000		933,000		933,000	
	その他の支出	4,742,000		4,742,000		4,742,000	
	事業活動支出計(2)	1,250,087,000	30,820,000	1,280,907,000		1,280,907,000	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	84,147,000	-7,737,000	76,410,000		76,410,000	
施設整備等による収支	収	施設整備等補助金収入					
		施設整備等寄附金収入					
		設備資金借入金収入					
		固定資産売却収入					
		その他の施設整備等による収入					
		施設整備等収入計(4)					
支	設備資金借入金元金償還支出	20,872,000		20,872,000		20,872,000	
	固定資産取得支出	9,626,000		9,626,000		9,626,000	
	固定資産除却・廃棄支出						
	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,129,000		1,129,000		1,129,000	
	その他の設備整備等による支出						
	施設整備等支出計(5)	31,627,000		31,627,000		31,627,000	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-31,627,000		-31,627,000		-31,627,000	
その他の活動による収支	収	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入					
		長期運営資金借入金収入					
		長期貸付金回収収入					
		投資有価証券売却収入					
		積立資産取崩収入					
		事業区分間繰入金収入		8,000,000	8,000,000	-8,000,000	
		その他の活動による収入					
		その他の活動収入計(7)		8,000,000	8,000,000	-8,000,000	
	支	長期運営資金借入金元金償還支出					
		長期貸付金支出					
	投資有価証券取得支出						
	積立資産支出	2,974,000	83,000	3,057,000		3,057,000	
	事業区分間繰入金支出	8,000,000		8,000,000	-8,000,000		
	その他の活動による支出						
	その他の活動支出計(8)	10,974,000	83,000	11,057,000	-8,000,000	3,057,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-10,974,000	7,917,000	-3,057,000		-3,057,000	
	予備費支出(10)	91,000		91,000		91,000	
	当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	41,455,000	180,000	41,635,000		41,635,000	
	前期末支払資金残高(12)	288,604,824		288,604,824		288,604,824	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	330,059,824	180,000	330,239,824		330,239,824	

事業・予算報告は、当法人ホームページでも閲覧できますのでご覧下さい。

静岡DWAT活動（能登半島地震）

令和6年1月1日 正月を迎えた石川県能登半島を襲ったマグニチュード7.6の地震は現在も多くの人の記憶に残っていると思います。

芙蓉会ではDWATメンバー職員4名が順次石川県被災地の1次避難所、1.5次避難所にて支援活動を行いました。

そのうちの1名（みぎわ園職員）から活動内容を聞きました。1/14～1/17の期間で主に1次避難所にて地域住民の方に体調確認を行い、福祉の支援が必要、体調が良くない方等を他職種や医療へ繋げていました。その他には、段ボールベッドや段ボールの仕切りを地域の方と協力して作成したり、相談窓口を設置してそれぞれの専門分野に関する相談を受けたりしていました。

同DWATメンバー職員は「初めての派遣で緊張もあり、結果として何かを成し遂げたとも感じません。けれども、この経験が今後の活動の糧になればと思います。また、同じDWATメンバー職員の方に励ましをもらった事で落ち着いて現場に入ることが出来ました。」と話してくれました。



※法人内でDWATメンバーを募集しています。

静岡DWATホームページはこちら



ありがとう

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げますとともに、ここに紹介させていただきます。（敬称略）

- (株)ABC
- 清都
- 美濃部みどり
- あざみの会
- 大雲院
- (株)みずほ
- 石山幸風
- トヨタユニテッド静岡(株)
- 門司一徹
- 佐久間エリカ
- (株)ハローG
- (株)山清倉庫
- (株)かつまた
- ベルテックス静岡 岡田雄三
- NTT印刷(株)
- (株)カントビ 代表取締役 佐藤広恭
- 保科悦久
- 他 匿名37件
- グランマChie
- (株)マルハン 荒田島店
- (有)松永精巧
- 小西徳三

(R6.1/1～3/31)

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費をご送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。会費のお振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 個人会費 1口 1,000円 会社 団体会員 1口 3,000円

振込先（郵便局振替口座）

□口座番号 00880-0-2423 □座名称 芙蓉会後援会

何口でも結構です

他の金融機関からのお振込を受けられる際にご指定いただく口座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちょ銀行
店名 〇八九店
預金種目 当座
口座番号 0002423
口座名義 フヨウカイコウエンカイ

寄付のお願い

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上での大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

振込先

銀行名 静岡銀行 吉原北支店
預金種目 普通預金
口座番号 0817169
口座名義 社会福祉法人芙蓉会 理事長 内藤好彦
シャカイフクシホウジンフヨウカイ
リジショウ ナイトウヨシヒコ

編集後記

「芙蓉」84号を最後までご覧いただき、ありがとうございます。

昨年度も皆様に支えていただき、120周年記念式典やホームカミングデーなど、様々な催しを行うことができました。ご協力に感謝します。今年度も「芙蓉」を通して、利用者様の笑顔や生活の様子をお届けしていきますので、少しでも楽しみにしていただけると嬉しいです。